

安曇川住民福祉活動計画（第4次）

つながり3Sプラン

思^し聴^{ちよう}視^し言^{げん}貌^{ぼう}

五事を正す



…顔かたち

愛敬の心をこめてやさしく和やかな
顔つきで人と接しましょう

…言葉づかい

相手に気持ちよく受け入れられる
ような話し方をしましょう

…まなざし

愛敬の心をこめて暖かく人を見、
ものを見るようにしましょう

…よく聞く

話す人の気持ちに立って相手の話を
聞くようにしましょう

…思いやり

愛敬の心をもって相手を理解し
思いやりの心をかけましょう

「つながり3Sプラン」

安曇川は、近江聖人中江藤樹先生生誕の地でもあり、先生の教えは後世に受け継がれ、今も思いやりと優しさがあふれています。

先生の教えである「五事を正す」を大切にし、ひとりではむずかしいことも、いろいろな人とつながれば、何事も成し遂げられるという思いから「つながり3Sプラン」を策定しました。

令和7年（2025年）4月

安曇川住民福祉ネットワーク

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会

住民福祉活動計画って？

●だれのための何の計画？

安曇川地域の住民の皆さんが、「ふだんのくらしのしあわせ」のために、身近な生活・福祉課題について話し合い、できることから取り組んでいくことをまとめた、誰もが参加できる福祉活動の計画です。



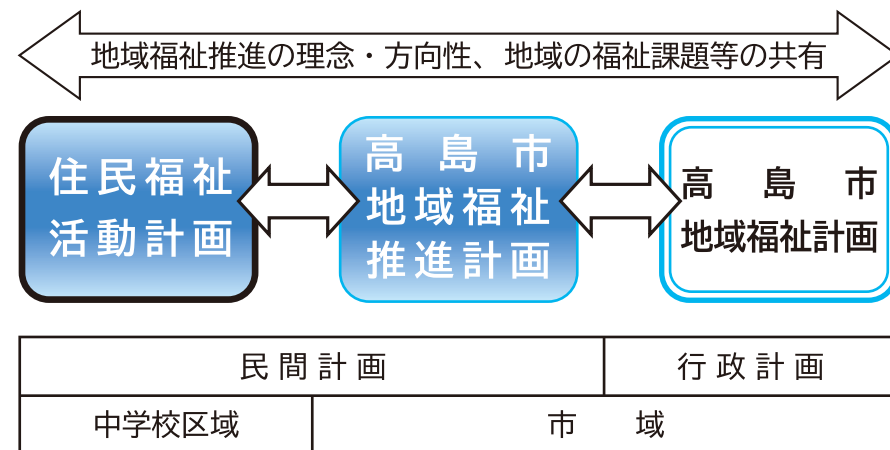
策定会議の様子

●だれが取り組んでいくの？

個人が取り組む活動から、組織・団体が協働して取り組む様々な活動があります。

●行政や他の計画との関係

市内の6地域ごとに策定される「住民福祉活動計画」と、社会福祉協議会が呼びかけて市域全体として策定される「地域福祉推進計画」は、民間の計画として相互の取り組みの連携が図られています。市行政が策定する「地域福祉計画」は、高島市総合計画を受けて、行政の立場から地域福祉を推進する計画ですが、これら3つの計画は理念・方向性を共有しています。



住民福祉協議会って？

●オープンで出入り自由な住民組織です！

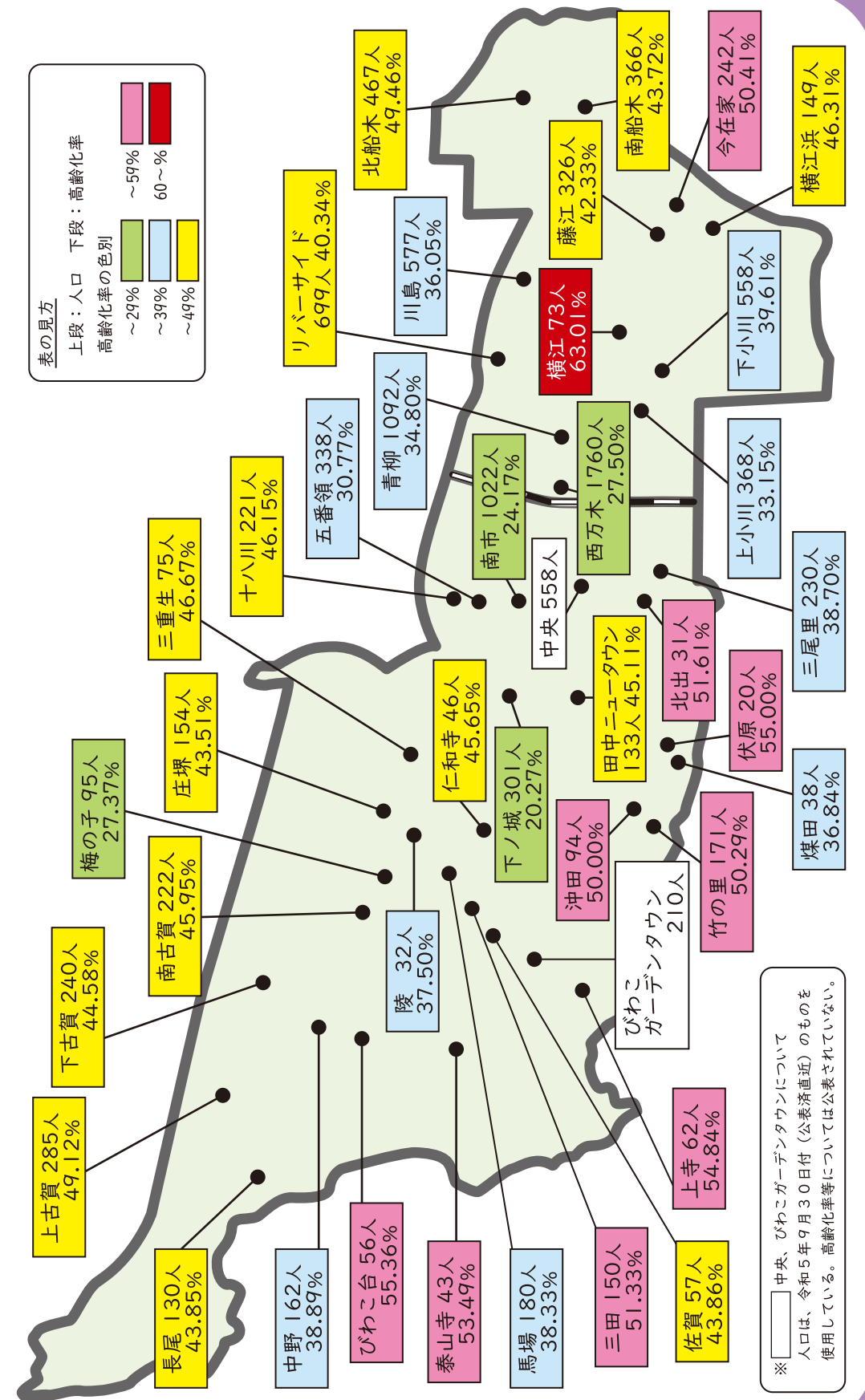
住民福祉協議会は、個人、団体にかかわらず「自分のまちを、誰もが住みやすいまちにしていこう」という志のもと、多様な分野、立場で活動する人たちが集まるネットワーク型の組織です。住民福祉活動計画に基づいた様々な取り組みを行っています。



安曇川地域の住民福祉協議会は、
「安曇川住民福祉ネットワーク」という愛称で活動中です。

安曇川地域の人口と高齢化率

令和7年1月1日現在



※ 中央、びわこガーデンタウンについて
人口は、令和5年9月30日付（公表済直近）のものを
使用している。高齢化率等については公表されていない。

**安曇川住民福祉活動計画の
具体的な内容は次のページに！**

第4次安曇川住民福祉活動計画（令和7年度～令和11年度）

「安心して安全な安曇川のまちづくり」 つながい3Sプラン

S ささえあえる 人のつながいづくり

すべての世代の人がつながれるように、地域での居場所を応援しよう。

「あどがわボランティアまつり」等で住民交流を深めボランティア人材の掘り起こしや育成を進めよう。

「介護を考えるミニフォーラム」や「安中カフェ」、「リニカフェひまわり」を通して、介護や認知症等の理解を進めよう。

「安中カフェ」を通して、中学生と共に福祉について学び、すべての世代とつながる機会を作ろう。

「あどがわつながり食堂」の運営を通して、子育てや、地域のつながりづくりを応援しよう。

子育てに悩みを抱える人たちの居場所「わくわくサラダ」の運営を通して、地域の障がいに対する理解を広めよう。

地域の中にある学校のつながりを強化するため安曇川地域学校協働活動（※2）と連携し、学校支援を進め、子どもの学びや成長を支えよう。

S 災害にも強い 地域のつながいづくり

ネットワークで行っている事業に、防災について考える時間「ちよつと防災」を取り入れ、防災意識を積み重ねよう。

安曇川地域住民自治協議会（※1）や高島市災害ボランティア活動連絡協議会（※3）と協力し、いざという時のために地域のつながりづくりと普段から行動できる準備をすすめていこう。

安曇川住民福祉ネットワークセンター（安曇川地区ボランティアセンター）

居場所・交流拠点 誰もが気軽につどえる場所として、つながれる交流拠点

相談 身近な心配事や困り事を気軽に相談できる場

連携 安曇川地域住民自治協議会、安曇川地域学校協働活動、高島市災害ボランティア活動連絡協議会など（住民組織含む）・保健・医療・福祉・教育との連携を強化

※1 安曇川住民自治協議会 地域のさまざまな団体や住民が連携・協力しあいながら住みよいまちづくりを進めるための協議会です。

※2 安曇川地域学校協働活動 地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域にある学校、学校を核とした地域づくりを目指し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働した活動をしています。

※3 高島市災害ボランティア活動連絡協議会 防災出前講座などを通して地域防災力の向上を目指して活動しています。

2025

2027

2029

計画の期間

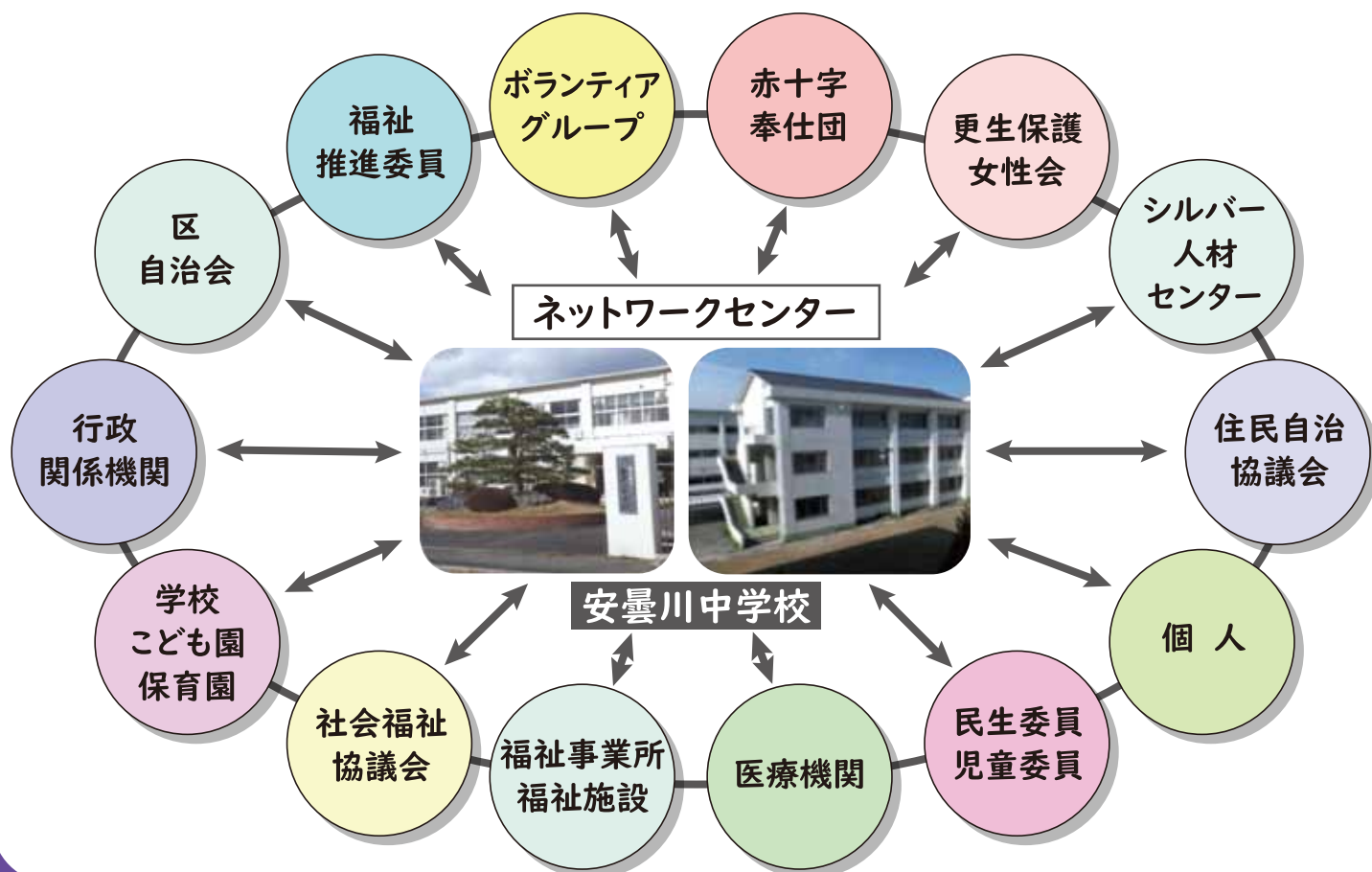
この計画の期間は、2025 年度から 2029 年度の 5 年間で
また、必要に応じて 3 年目に見直しを行なう予定です。

安曇川地域のみなさまへ

この計画を通して、地域のみなさまが身近にある生活・福祉課題に気づかれ、それを解決していく取り組みに参加していただける 第一歩となることを願っています。

安曇川住民福祉ネットワーク

私たちは、この図のように、広くつながりをもって、地域に寄り添った活動を目指します。



安曇川住民福祉活動計画（第4次）策定メンバー（敬称略）

石黒徳市・梅村頼子・尾崎好子・木村健治・木村正美・多胡重孝・田村たま枝・中川富美江・拜藤あい子
 湊田俊江・前川敏子・安原操代（安曇川住民福祉ネットワーク…五十音順）
 田中房子（高島・安曇川地域包括支援センター） 奥村理恵（安曇川地域住民自治協議会）
 橋本理恵・小谷愛子（高島市役所） 嬉野有美・山崎雅也・宮田早苗・前川彩子（高島市社会福祉協議会）



安曇川住民福祉活動計画（第4次）～つながり3Sプラン～

発行日：2025 年 4 月 1 日 策定：安曇川住民福祉ネットワーク

発行：社会福祉法人高島市社会福祉協議会（☎ 0740-25-5730 FAX 0740-28-7199）

この冊子は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています



高島市社協 Web サイトはこちら